

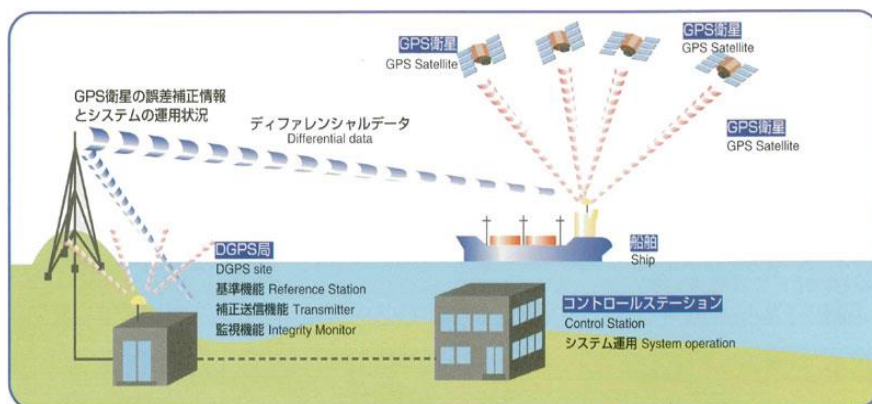
ディファレンシャルGPSの廃止について

海上保安庁は、米国が運用しているGPSの測位精度を向上させるために運用してきたディファレンシャルGPSを、平成31年3月1日をもって廃止します。

海上保安庁がディファレンシャルGPS（以下「DGPS」）を運用開始した平成9年当時のGPSは約100mの測位誤差があり、海上の安全の確保のためDGPSにより精度向上を図っていましたが、近年のGPS自体の精度向上、他の補正システムの運用開始、平成31年4月に見込まれるDGPS装置の障害発生等を踏まえ、廃止することとしました。南九州地区では都井岬局（宮崎県串間市）及びトカラ中之島局（鹿児島県十島村）の2局を廃止します。

なお、DGPS廃止以降も既存のGPS受信機によりGPS信号の受信、測位は可能です。

- DGPSは、米国が運用しているGPSの測位精度を向上させるため、海上保安庁が全国27の無線局から補正情報等を提供するシステムです。
- 現在、GPSの測位精度は、以前に比べ大幅に向上し、10m程度で運用されています。
- また、我が国には、DGPS以外にGPSの補正情報が得られるシステムとして運輸多目的衛星用衛星航法補強システム（MSAS）（測位精度数m）があり、さらに、平成30年11月には、準天頂衛星「みちびき」の運用が開始され、GPSを補完する衛星測位サービスと補強サービスが提供されています。
- 以上からDGPSの必要性は、大幅に低下してきています。一方、DGPSは、平成31年4月にロールオーバー（DGPS装置内の時刻管理が不能となる障害）が発生し、以後、補正情報の信頼性を担保できない状況となります。



【送信元】

宮崎海上保安部交通課

【問い合わせ先】

第十管区海上保安本部交通部企画課
Tel.099-250-9800（内線 2610）